

クイックスタートガイド



TQ Series

TQ12M

Coaxial 2-Way 12" Stage Monitor for Touring Applications

TQ14M

Coaxial 2-Way 14" Stage Monitor for Touring Applications



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（1/4" TS 標準ケーブルおよび speakCON）を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本製品を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。本製品には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、本製品の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布を使ってください。
7. 本製品は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本製品は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をしてください。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセントおよび製品との接続には十分ご注意ください。

11. 付属品は本製品の製造元が指定したもののみをお使いください。

12. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本製品の製造元が指定したものの、もしくは本製品の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下によるけがに十分ご注意ください。



13. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

14. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これがすぐに操作できるように手元に設置して下さい。

15. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認してください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の本製品内への浸入、本製品の上に物が落下した場合、雨や湿気に本製品がさらされてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは本製品を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ本製品に損傷が加わった場合は、本製品の修理・点検を受けてください。

17. 本製品の正しい廃棄：この記号は、WEEE 指令



（2012/19 / EU）および国内法に従って、この製品を家庭ごとと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器（EEE）のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルできる場所の詳細については、最寄りの自治体または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

18. 本棚など閉鎖的なスペースには設置しないでください。

19. 本製品の上に点火したろうそくなどの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本製品は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上で詳細をご確認ください。community.musictribe.com/pages/support#warranty

目次

1. はじめに.....	3
2. 接続.....	7
3. TQ シリーズ設置.....	7
4. 寸法.....	8
5. Lake プリセットオーバーレイとアプリケーションノート.....	9
6. 仕様.....	15

1. はじめに

この度は、ビーテック株式会社取り扱い製品 Turbosound のスピーカーをお選びいただき、誠にありがとうございます。こちらはクイックスタートガイドです。詳しい情報につきましては弊社HP(<https://beetech-inc.com/brand/turbosound/>)をご覧ください。

開梱

製品開梱後、本体に損傷がないかご確認ください。万が一、破損していた場合は弊社もしくは販売代理店までご連絡ください。その際には、恐れ入りますがお受け取りになった方より弊社までご連絡をお願いいたします。また、梱包材は保管してください。

本クイックスタートガイドについて

本クイックスタートガイドでは、TQ12M および TQ14M スピーカーについて解説しております。

安全性について

本製品の設置およびセットアップは、必ず有資格の技術者がお住まいの地域および国の安全規制を順守しておこなう必要があります。部品・構成部品に不足がある場合は、システムをセットアップする前に販売店にご連絡ください。

付属品の改造、本クイックスタートガイドに記載されている以外の方法で使用しないでください。リギングコンポーネントは完全な組み立て品の一部として提供しており交換不可能です。また、他の組み立て部品と交換できません。

本製品の不適切な使用、設置、操作に起因する損害や人身事故について、Music Tribe Global Brands Ltd は一切の責任を負いません。定期的なシステムが安全で安定した状態に保たれるよう、有資格者による定期的なチェックを行ってください。

システム要件

TQ12M と TQ14M は、パッシブ/バイアンプ切替え可能な 2 ウェイ・ステージモニターです。

BI-AMP モードでは、アンプと DSP の 2 チャンネル、PASSIVE モードでは、アンプと DSP の1 チャンネルが必要になります。TQ シリーズのラウドスピーカーは全て、Lab Gruppen PLM+および D シリーズ プラットフォームで、Lake プリセットを使用します。また、Lab

Gruppen IPX シリーズプリセットもリリースされております。

サードパーティー製のパワーアンプおよび DSP プラットフォームには対応していません。また、プリセットデータのリリースは無く、対応していません。TQ シリーズは、Lake XP ソフトウェアの最新機能を活用した、パワフルかつシンプルなプリセットを備えています。プリセットデータ Lake Load Library は(<https://beetech-inc.com/download/>)からダウンロードしてください。

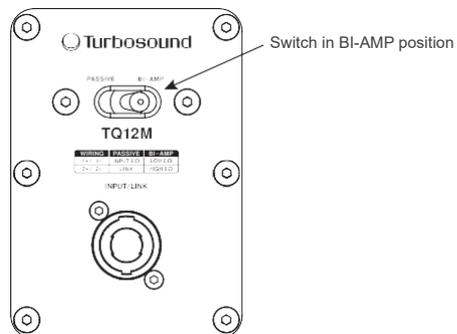
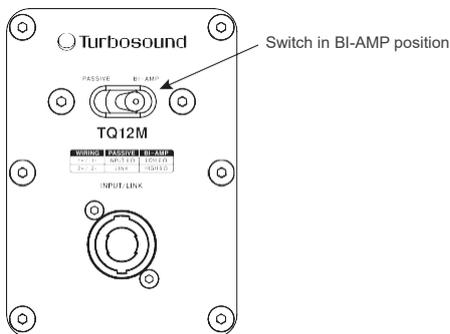
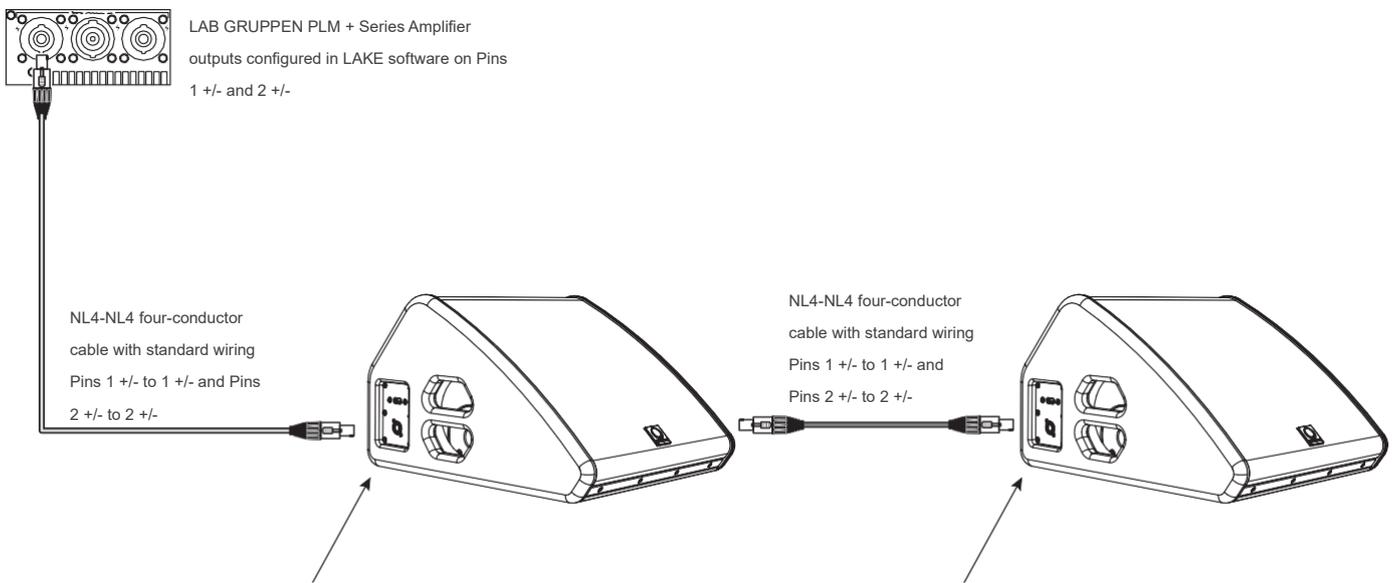
ツアールング アプリケーションに推奨の Lab Gruppen PLM+シリーズは PLM8K44 / PLM12K44 および PLM20K44 です。Lab Gruppen D シリーズを使用して設置する場合は、Lab Gruppen の「CAFE」ソフトウェア(<https://beetech-inc.com/products/configuringamplifiers-fortheenvironment-cafe/>)で、システムに最適なアンプ構成を決めてください。

システムのケーブル

アンプのパワーを無駄にしないために、最低でも 2.5 mm²(14 AWG)、長い場合は 4 mm²(12 AWG)の耐久性の高いスピーカーケーブルを使用することをお勧めします。ケーブルが極端に長い場合は、ケーブルインピーダンスと抵抗の損失に注意してください。常に正しい極性を守ってください。信頼性の高い運用のために、純正の Neutrik 社のスピコンコネクタを使用してください。アンプからラウドスピーカー キャビネットへのスピーカーケーブルは、配線によってスピーカーに大きな重量や横方向の力が加わらないように取り付けて支えてください。入力ケーブルやリンクケーブルは、決してスピーカーの角度をつけたり、リギングとして使用したりしないでください。

BI-AMP モード

2台のTQ モニターの入力パネルスイッチを BI-AMP に切り替えてください。BI-AMP モードの TQ12M および TQ14M キャビネットは、次のように配線されています。(1 +/- = LF, 2 +/- = HF) Lab Gruppen パワーアンプからのアウトプットパッチングには、(LF: 1 +/- HF: 2 +/-) または (LF: 3 +/- HF: 4 +/-) のいずれかを使用してください。



PASSIVE モード (2つの TQ モニターをリンクして接続)

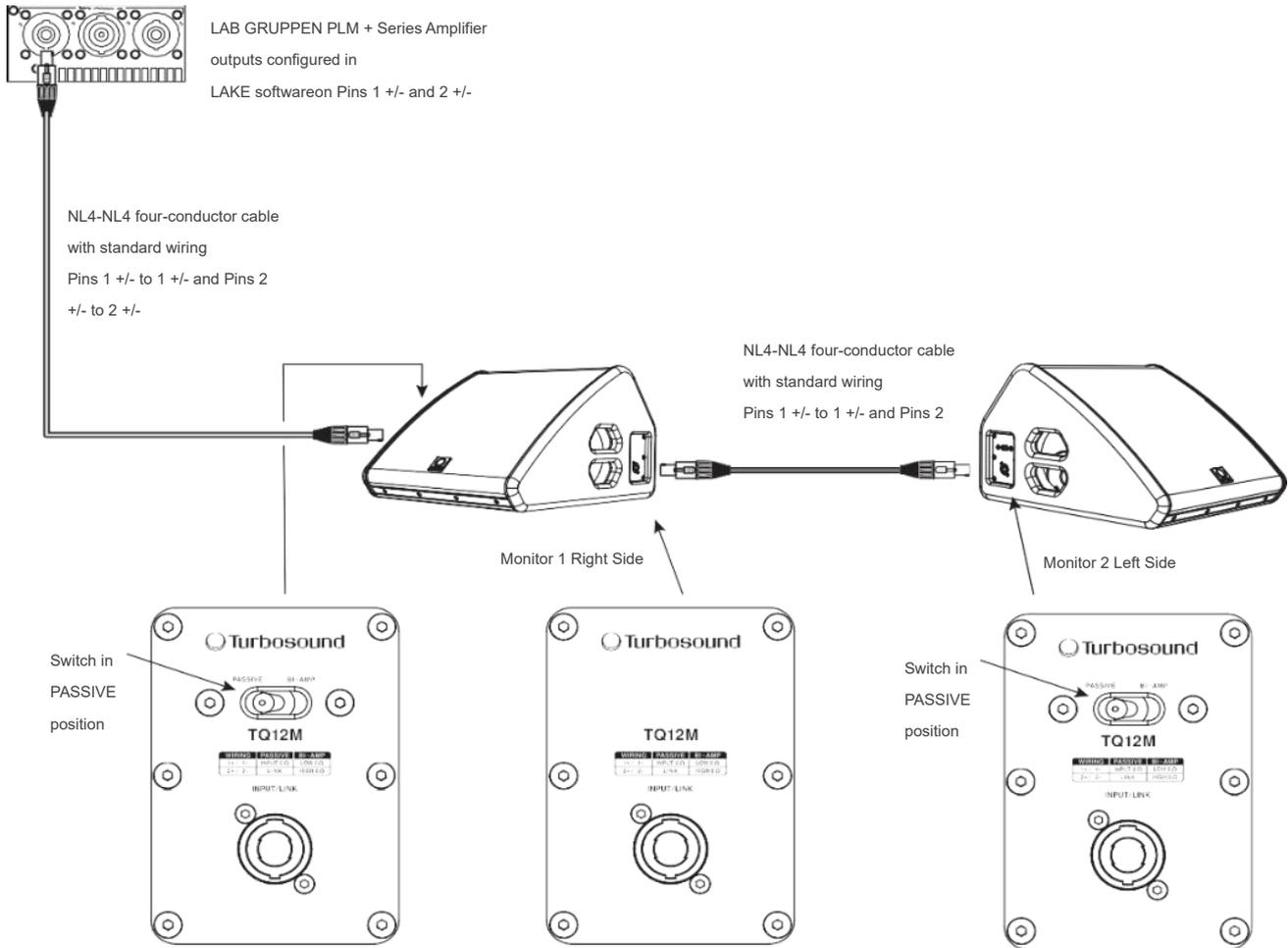
1ペアでミックスする場合

2台のTQ モニターの入力パネルスイッチを PASSIVE に切り替えてください。

注: TQ モニターは PASSIVE モードで配線されています(1 +/- = FR、2 +/- = link) Lab Gruppen PLM+ アンプの 4 つのオプション(1、2 または 3、4 +/-)からアウトプットパッチを選択できます。

Lab Gruppen パワーアンプからのアウトプットパッチングはピン 1 +/- およびピン 2 +/- をご使用ください。

パワーアンプへ接続する TQ モニターへの NL4 ケーブルはピン 1 +/- を使用し、2 台目の TQ モニターへの接続NL4 ケーブルもピン 1 +/- を使用します。パワーアンプへ接続された TQ モニターの LINK (ピン 1 +/-)は、2 台目の TQ モニターのINPUT (ピン 1 +/-) に接続されます。TQモニター1,2はフルレンジで同じミックスを再生します。



PASSIVE モード (2つの TQ モニターをリンクして接続)

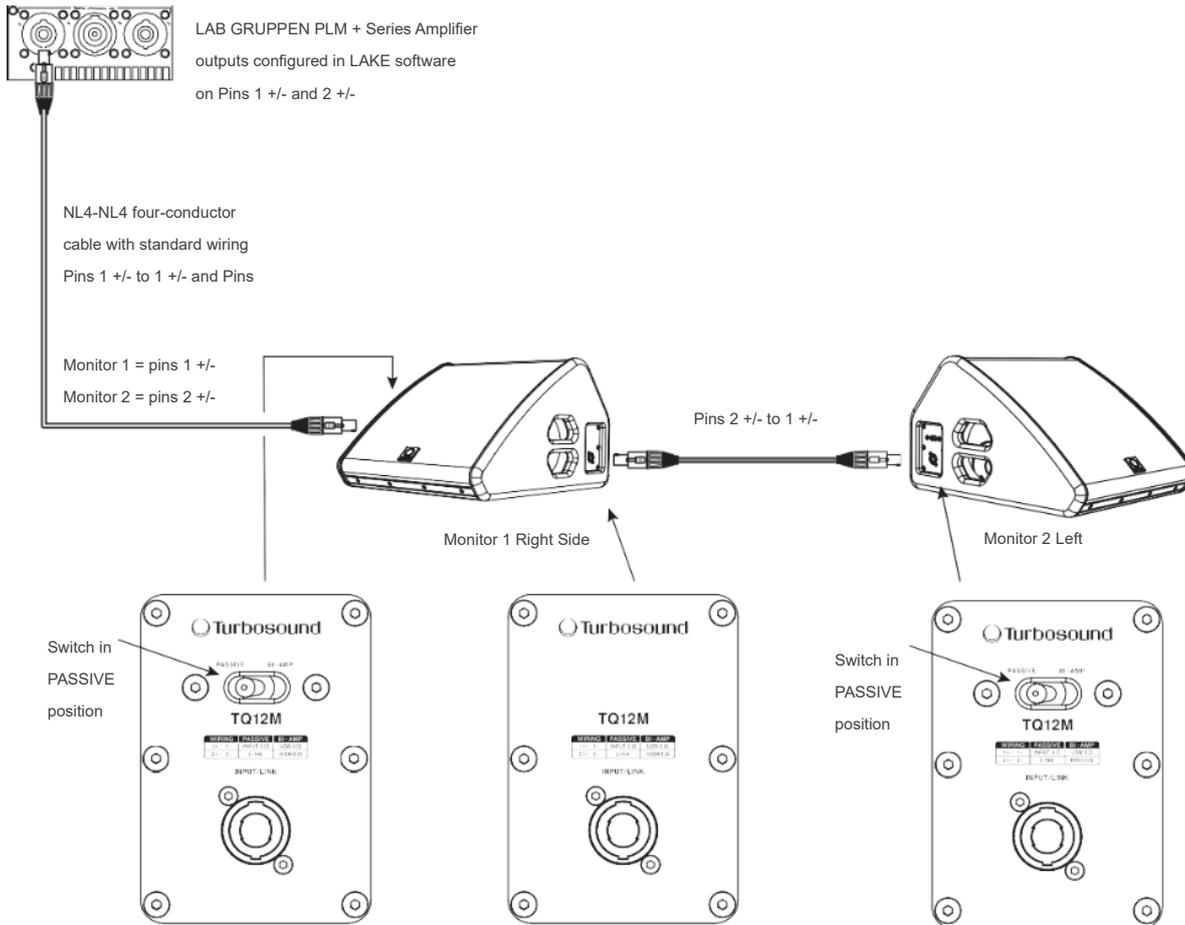
2つの TQ モニターを独立して使用する場合

2台の TQ モニターのインポートパネルスイッチを PASSIVE に切り替えてください。

注: TQ モニターは PASSIVE モードで配線されています。(1 +/- = FR, 2 +/- = link) Lab Gruppen PLM+ アンプの 4 つのオプション(1, 2 または 3, 4 +/-)からアウトプットパッチを選択できます。

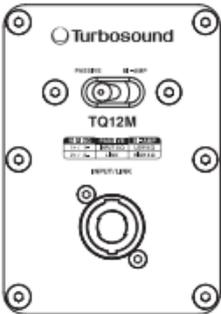
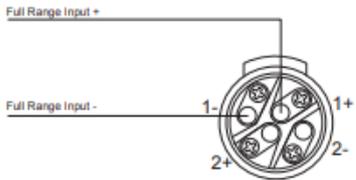
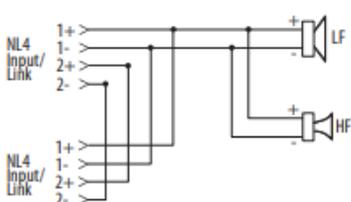
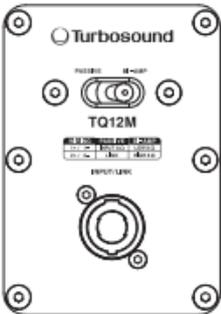
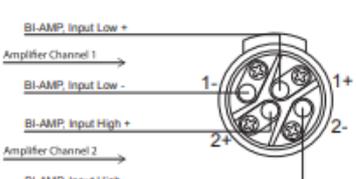
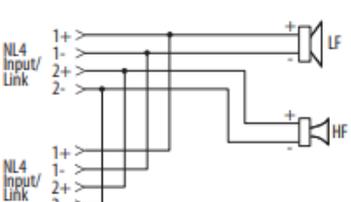
Lab Gruppen パワーアンプからのアウトプットパッチングは(スピーカー出力 1:2 +/-、およびスピーカー出力 3:4 +/-)をご使用ください。

パワーアンプへ接続する TQ モニターへの NL4 ケーブルはピン 1 +/- を使用し、2 台目の TQ モニターへの接続 NL4 ケーブルはピン 2 +/- を使用します。パワーアンプへ接続された TQ モニターの LINK (ピン 2 +/-) は、2 台目の TQ モニターの INPUT (ピン 1 +/-) に接続されます。TQ モニター 1, 2 はフルレンジで独立して再生します。



2. 接続

警告:TQ シリーズはオフィシャル Lake プリセットの使用が必須となります。他のパワーアンプを使用した場合、TQ のパッシブクロスオーバーおよびトランスデューサーの構成部品に故障が生じます。サードパーティー製の DSP またはパワーアンプには対応していません。

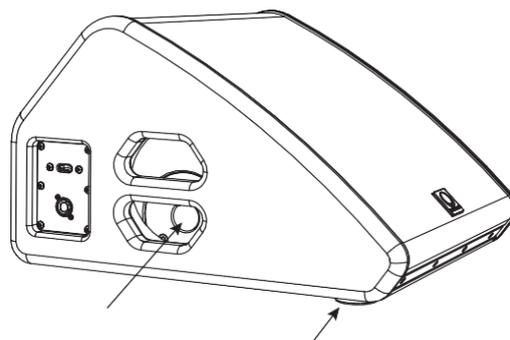
Mode	Side Panel	Connector	Internal Schematic
PASSIVE			
BI-AMP			

3. TQ シリーズ設置

TQ12M/TQ14M スピーカーには、平らで水平な表面に置くための 4 つの足が底部にあります。

ポールマウント

ポールマウント用 35 mm の穴が用意されています。TQ12M/TQ14M は、TQ15B または TQ18B サブウーファー、または適切な三脚スタンドにポールマウントすることができます。下端が M20 ネジの 35mm ポールの使用をお勧めします。このタイプはより安全で、TQ15B または TQ18B サブウーファーの上部レセプタクルにねじ込むことができます。サブウーファーのトップハットに K&M 24507 アダプターボルト M20 Ø 35 mm を使用することで、任意の M20 ディスタンスロッドを使用できます。

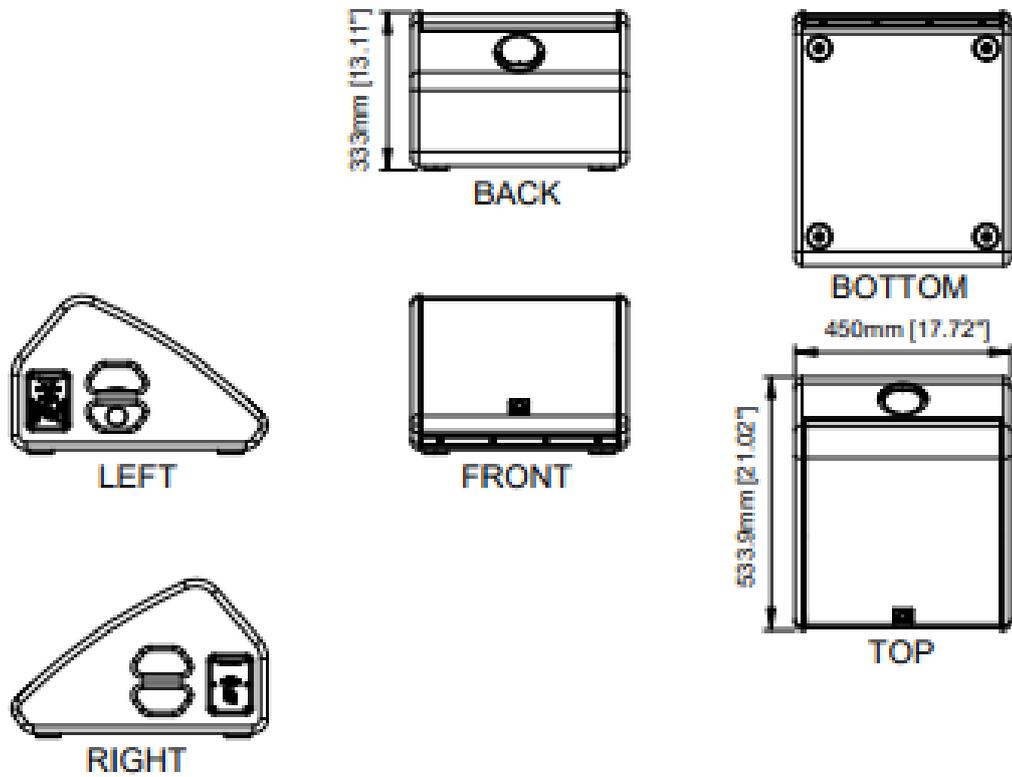


Pole Mount 35mm

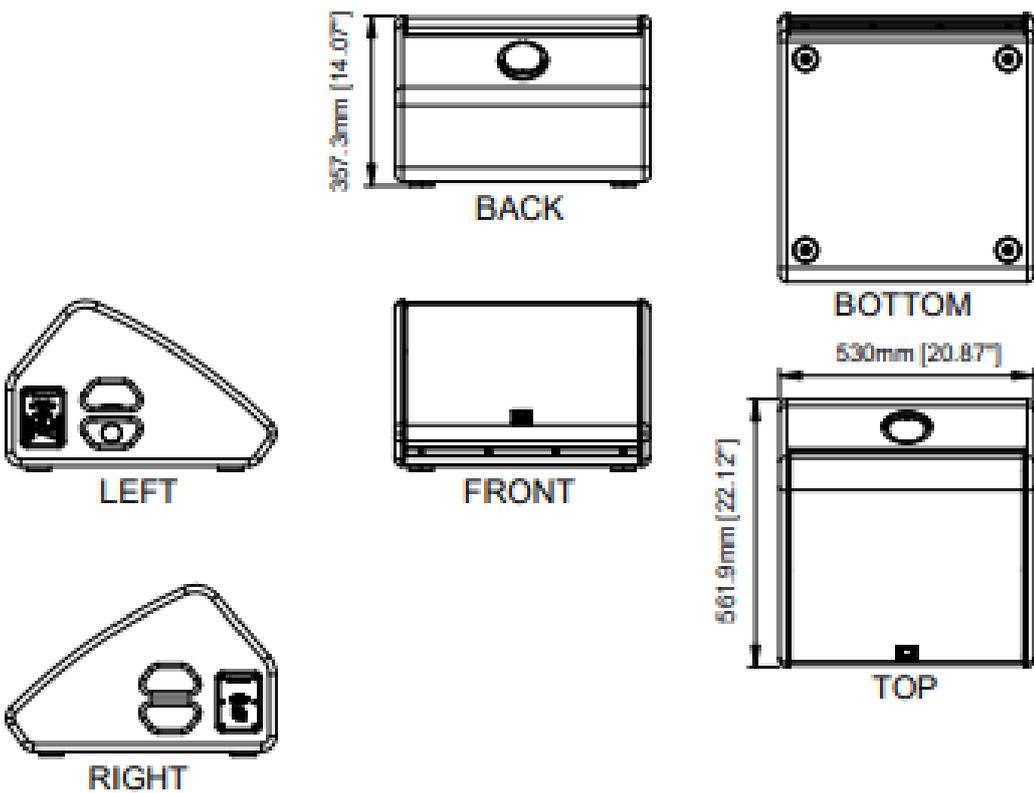
Feet x4

4. 寸法

TQ12M



TQ14M



5. Lake プリセットオーバーレイとアプリケーションノート

TQ シリーズはすべて、Lab Gruppen PLM+および D シリーズのプラットフォーム Lake プリセットおよびIPX FIR-X プリセットを介して Lake XP プリセットのみを使用します。他のアンプおよび DSP プラットフォームには対応していません。TQ シリーズは、Lake Software の最新機能と新しい BLEQ オーバーレイを活用した、パワフルかつシンプルなプリセットを持っています。プリセットデータは Lake Load Library を経由するか、ビーテックホームページよりダウンロードできます。

<https://beetech-inc.com/download/>

TQ12M、TQ15M ラウドスピーカーは、個別の 1 ウェイパッシブおよび 2 ウェイバイアンプ FIR ベースプリセット(1 チャンネル DSP/AMP、バイアンプ 2 チャンネル DSP/AMP)、フルレンジまたはサブウーファー付きがあります。

注意:TQ12M、TQ15M ラウドスピーカーを同じアンプ / DSP 回路で使用しないでください。機器の破損につながる恐れがあります。

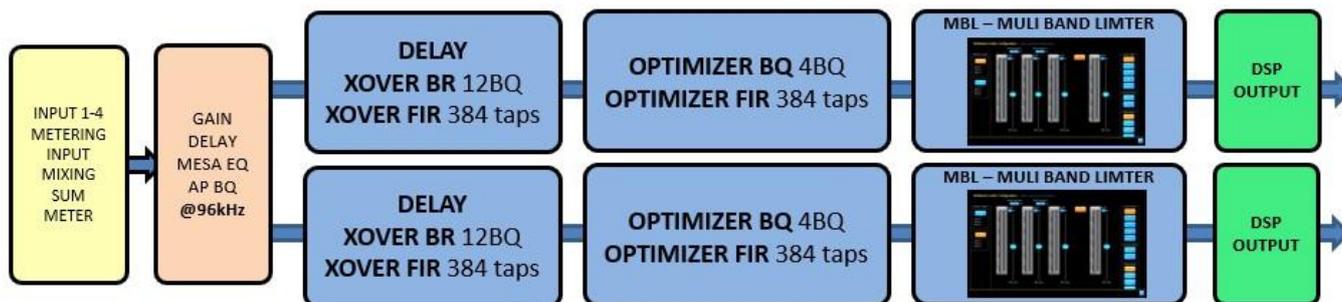
注意:出力パッチングには十分注意してください。

注意:HF ホーンの向きに注意し、HF ホーンが回転している場合は HR プリセットを選択してください。TQ12M、TQ15M モジュールは、

Lake ソフトウェアの XP モジュールをベースにしています。この QSG は REV2.2 XP の XP プリセットを参照しています。

Lake ソフトウェア V8.1 以上を使用する必要があります。

Lake XP シグナルフロー

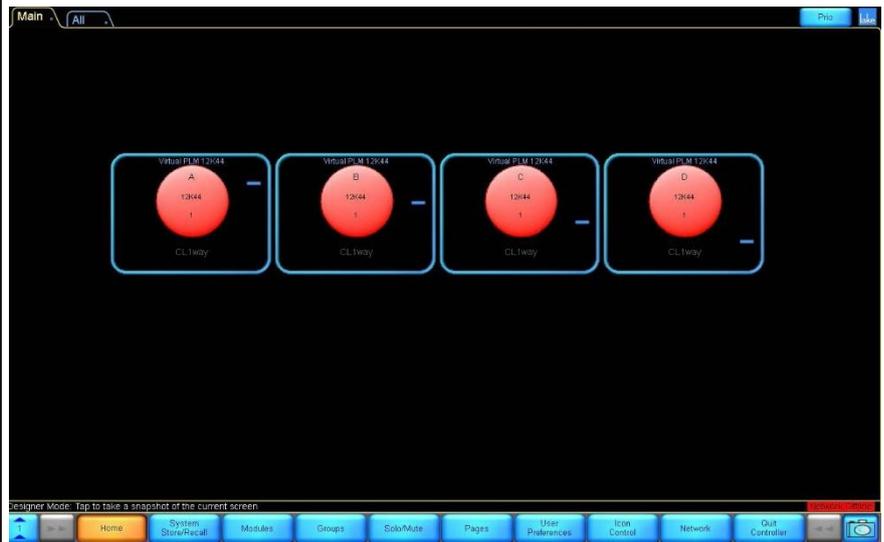


Lake Controller のダウンロードには、Lake Controller と PLM+シリーズアンプ等の互換性のあるハードウェアのオペレーション マニュアル(英語)が含まれています(日本語取り扱い説明書はビーテックダウンロードページより行えます。)

このクイックスタートガイドでは、Turbosound TQ シリーズのワークフローとプリセットに焦点を当て、Lake Controller に関する基本的な知識を前提としています。

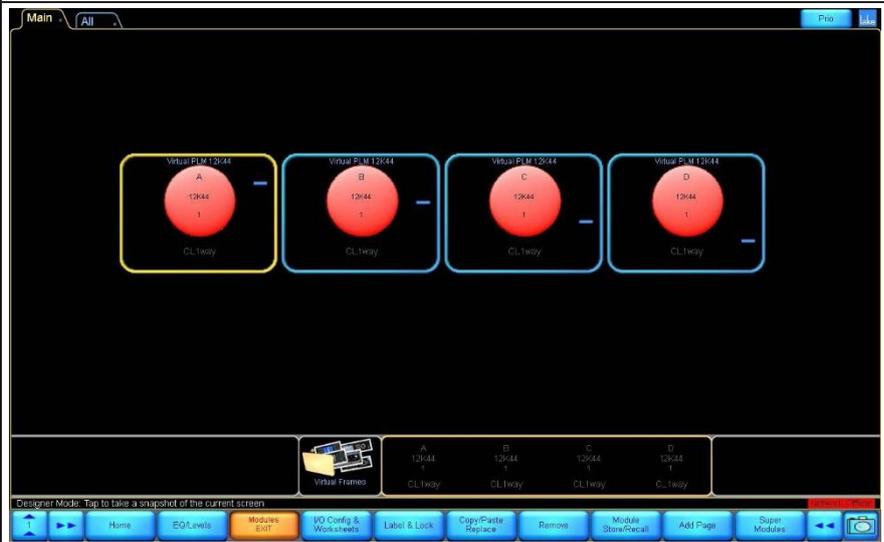
1.1:フレーム(アンブ)はメインワークスペースページにあります。ここでは、DSP プリセットモジュールがロードされていないデフォルトの PLM12K44 のフレームを見ることができます。

DSP プリセットモジュールがロードされていません。

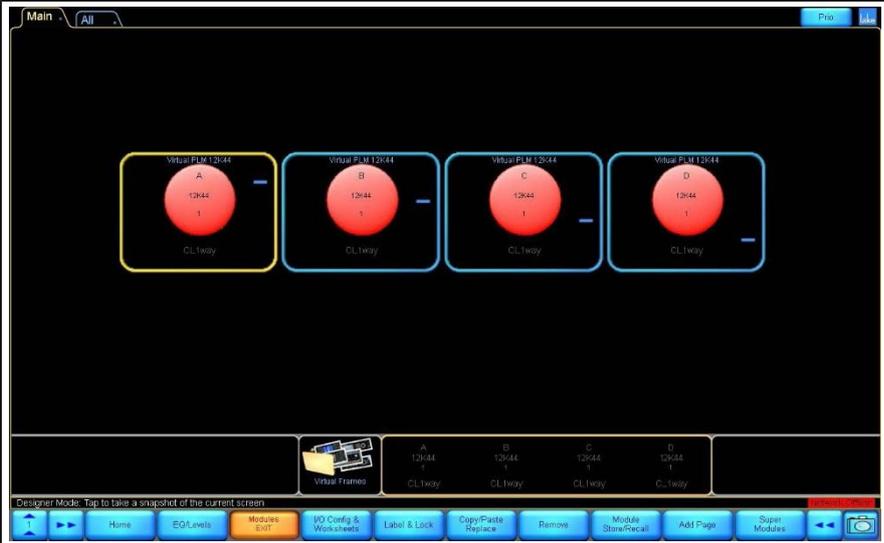


Lake Load Library からモジュールをロードする手順: コントロールバーの Module が選択されている状態でフレーム内の Module A を左クリックします。

Module A は黄色でハイライトされて、ワークスペース下部のコントロールバーのボタンでは、さまざまな Module のオプションが表示されます。

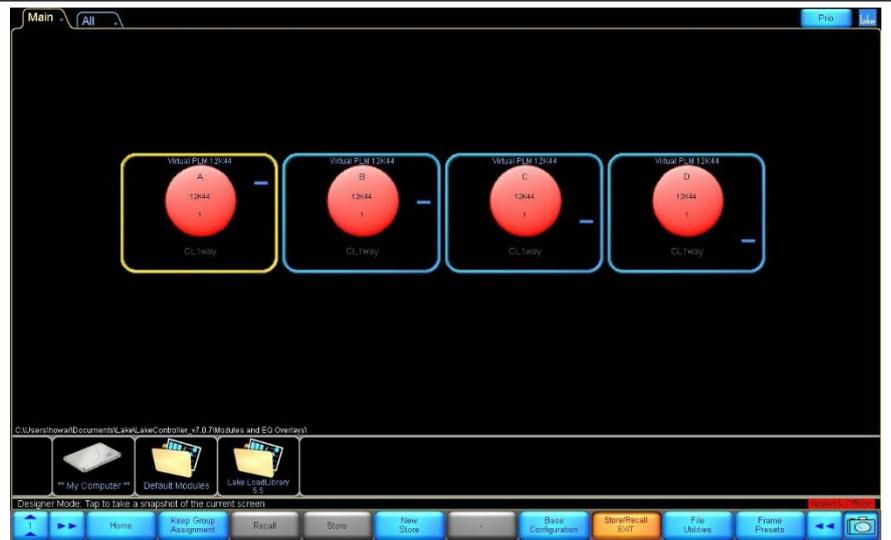


Module Store/Recall ボタンからプリセットをロードします。



フォルダが表示され、モジュールのプリセットを呼び出します。

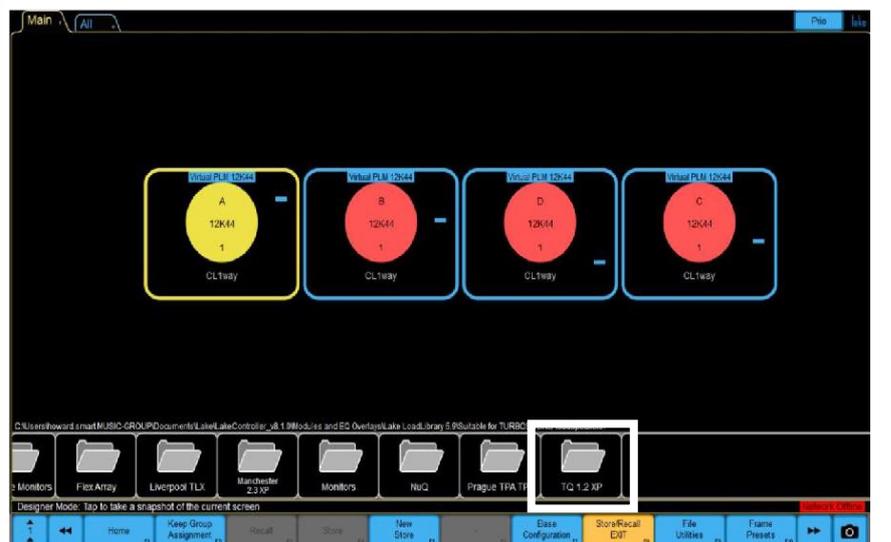
Lake Load Library 5.5 フォルダをダブルクリックします。



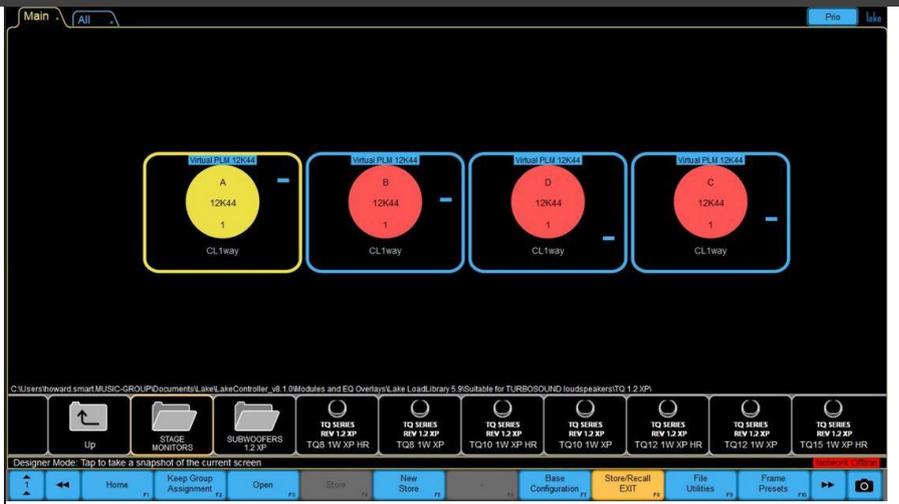
矢印キー >> << を使ってスクロールし、
"Suitable for TURBOSOUND Loudspeakers"
"フォルダを見つけ、ダブルクリックして開きます。



もう一度スクロール >> << して
「TQ REV1.1 XP」フォルダをダブルクリックして開いてください。



ステージモニター、サブウーファー-TQ8、TQ10、TQ12、TQ15 各スピーカーのフォルダが表示されます。:使用するスピーカーのフォルダをダブルクリックします。



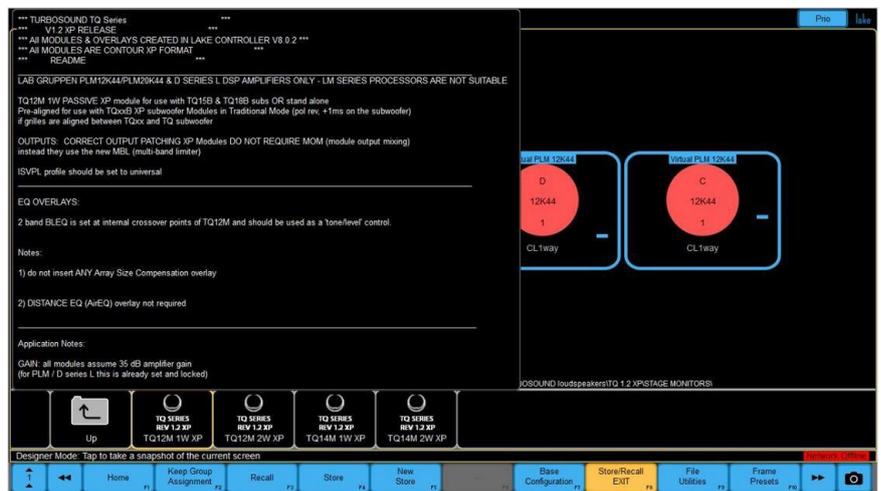
TQ12M および TQ14M ステージモニターのモジュールフォルダが表示されます。

各ステージモニターには 2 つのオプションがあり、これはリアパネルの BI-AMP スイッチの設定によって異なります。

1W = ワンウェイ。スイッチが PASSIVE に設定されています

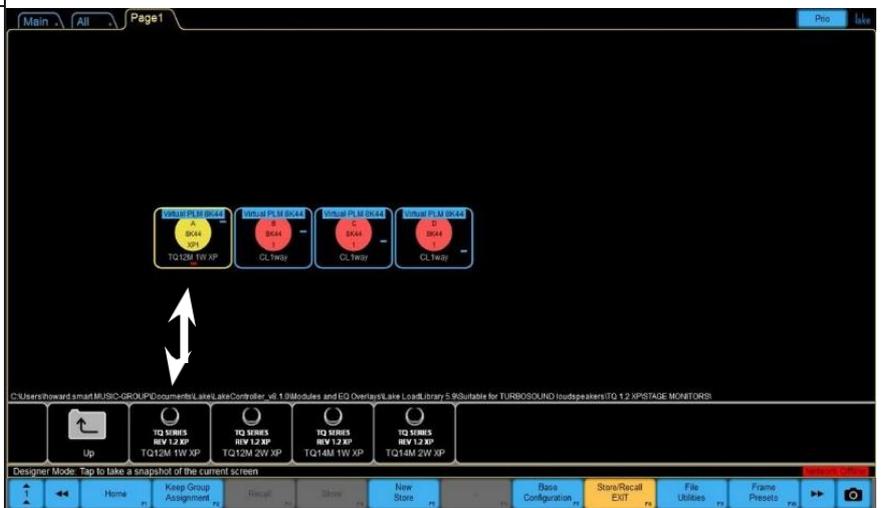
2W = ツウウェイ。スイッチが BI-AMP に設定されています

いずれかを左クリックして、モジュール設定の詳細を表示します。この例では、スイッチが PASSIVE に設定されている 1W オプションを選択しております。



ヒント:必ずお読みください!

目的のプリセットをダブルクリックするとハイライトされたモジュールにプリセットモジュールのメッセージが開きます。



YES を押して次に進みます。

プリセットモジュールがロードされます。

TQ12M / TQ14M ステージモニターには 2 バンド EQ(BLEQ)がインサートされています。

BLEQ はLF/HF のレベルコントロールとして機能し、BLEQ の 2 つの中心周波数は LF / HF のクロスオーバーポイントに関連します。BLEQ は、PEQ オーバーレイやグループオーバーレイ (システム設計に依存)とともに、ユーザーがシステムのトーンバランスを調整します。

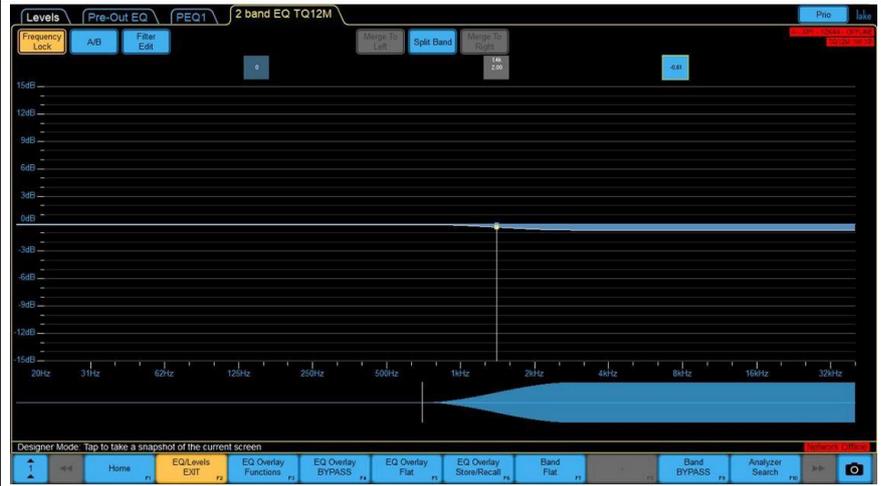
BLEQ の使用例
フラット



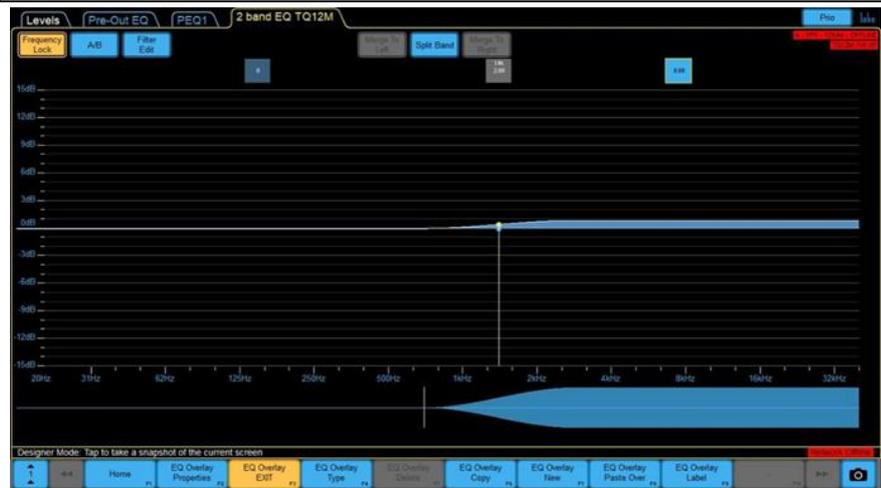
LF カットと HF ブースト



Hi カット



BLEQ の使用例
フラット



6. 仕様

システム	TQ12M	TQ14M
形式	2Wayステージモニター	
周波数特性(±3 dB) *1	69Hz - 18kHz	60 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-10 dB) *1	59Hz - 20kHz	55 Hz - 20 kHz
公称指向角(-6 dB)	60°H x 40°V	
感度*2	LF: 99 dB, HF: 106 dB (1 W @ 1 m)	
パワーハンドリング(IEC 規格)		
パッシブ駆動時	連続 430W / ピーク 1,720W	連続 480 W / ピーク 1,920 W
バイアンプ駆動時	LF: 連続 350W / ピーク 1,400W HF: 連続 80W / ピーク 320W	LF: 連続 400 W / ピーク 1,600 W HF: 連続 80 W / ピーク 320 W
定格最大 SPL*3		
パッシブ駆動時	137 dB	
バイアンプ駆動時	138 dB	
インピーダンス		
パッシブ駆動時	8Ω	
バイアンプ駆動時	LF:8Ω HF:8Ω	
クロスオーバー	パッシブ/バイアンプ切り替え	
ドライバー構成		
LF	12 インチ(310 mm)LF ドライバー	13.5 インチ(340 mm)LF ドライバー
HF	1×3 インチ(72 mm)ボイスコイル HF コンプレッションドライバー	
エンクロージャー		
コネクター	Neutrik NL4 x 2 パッシブ: 1+/1- input , 2+/2- link バイアンプ: 1+/1- LF , 2+/2- HF	
寸法 (H x W x D)	335 x 450 x 535 mm	359 x 530 x 563 mm
重量	17.8 kg	20.5 kg
素材	12mm と 15mm のプライウッド	
仕上げ	ウレタン塗料 マットブラック	
グリル	クロスラップド、パウダーコーティング仕上げのグリル	
金具用取り付け穴	なし	
IPレート	IP44	
UVレート	4-5 (ASTM G155-13)	

※1 規定帯域幅の平均値。軸を中心に1mで測定。

※2 フリーフィールドの条件下で、クレストファクター4のピンクノイズを使用し、専用プリセットにて1m地点でのSPLレベル

※3 オーバーラップした帯域幅における平均ピークレベル。専用プリセットにて1m地点での測定。

turbosound.com

 **Turbosound**

 **Beetech Inc.**

〒157-0064 東京都世田谷区給田 3 - 33 - 9

Tel (03) 3305-5112 Fax (03) 3305-5113

www.beetech-inc.com